

宍粟市秘書広報課 殿

平成 26 年 7 月 1 日 (火)  
市民オンブズマンの会「オープンしそう」  
代表 中野 眞一

## 質問&提案書

初夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
紫陽花が大輪の花を咲かせる頃となりました。市民の為に、何かとご苦勞をなされておられることと存じ上げます。心より感謝申し上げます。

さて、当会の意見集約により下記の質問や提案を行うことを決定いたしました。

最初に、平成25年10月8日 市長より各市民局長、部長、局長に平成26年度予算編成方針について（通知）が出され、平成26年度の宍粟市予算が決定されました。  
その内容について質問させていただきます。

平成 26 年度予算編成方針について（通知）

①

（抜粋）・・・普通交付税等については平成 28 年度から段階的に減額が始まり平成 33 年度には完全是一本算定となることを念頭におき将来の財政収支を見通した場合、結果として大幅な財源不足となるのは明らかであり、この財源不足を解消するためには、人件費や公債費の抑制に加え、今後、少なくとも平成 33 年度までに、一般財源ベースで 8～10 億円程度の歳出の削減が必要となっている。・・・（中略）・・・各部局は徹底した事業の洗い出しを行い、今後の歳出総額抑制に向けた方向性を明確にするとともに、将来的に持続可能かつ自立的な地域づくりのための施策の推進にあたっては、これまでの取り組みを検証する中で、発想の転換を念頭に全職員の英知を結集した予算となるよう留意すること

②

一般会計の予算規模

平成 26 年度当初予算 236 億 4,000 万円 （対前年度当初予算比+15.8 億円+7.2%）

問 1 どうして将来の財源不足を予測しながら予算規模を増額させているのですか。

問 2 予算規模増額の主要部分は市債の 10 億 8,600 万円（前年比+49.5%）の増額です。  
市債を増やす理由をお教え下さい。

問 3 歳入の範囲内での予算編成を基本にした予算額ですか。

- 問 4 平成 33 年度を見据え、財政調整基金に頼らない財務構造を目指していますか。
- 問 5 財政調整基金の繰り入れ「ゼロ」の方針はありますか。
- 問 6 実質公債費比率は平成 28 年度以降悪くなるのではないですか。予測数値をお教えください。
- 問 7 「各部局は徹底した事業の洗い出しを行い」とありますが、徹底した事業の洗い出しをお教えください。
- 問 8 「今後の歳出総額抑制に向けた方向性を明確にするとともに」とありますが、歳出抑制に向けた方向性をお教え下さい。
- 問 9 市庁舎横の水路に水車が設置されましたが、その費用と効果をお教え下さい。また、市庁舎の太陽光発電もお教えください。
- 問 10 ①と②は矛盾するのではないのでしょうか。整合性のご説明をお願いいたします。

次に、平成25年11月7日に市長から回答があった「ゴミの分別収集に関する提案」について質問させていただきます。

- 問 11 同じ施設への搬入であるため、統一した分別収集が望ましいと考えるところであり今後、にしはりま環境事務組合や構成市町と状況を確認しながら、検討したいと考えます。と回答を頂いていますが、いつまでに、どのような基準で（どの市町に合わせるのか）対応されるのかをお示し下さい。
- 問 12 当市はアルミ缶とスチール缶の分別をお願いしています。ご提案のとおりにしはりまクリーンセンターへの排出のみを考えると混合が可能でありますので、今後検討していきますと回答を頂いていますが、いつまでに、どのようにされるのかをお教えください。
- 問 13 ゴミ収集費運搬業務は 8 社と 107,594 千円で契約。家庭ごみ収集運搬にかかわる現業職と収集車経費が 55,232 千円との回答を頂いています。合計 162,826 千円です。分別前のゴミ収集経費をお教えください。
- 問 14 ビンなどはゴミステーションが一杯にならなくても収集を行っている。方法を改善すれば運搬費が削減できるのではないのでしょうか
- 問 15 市民には分別収集で新たな負担がかかりましたが、分別収集でどのような効果が出ているのでしょうか。分別品別の年間の売上をお教えください。（例：アルミ缶 00 円）ゴミ収集費削減案はないのでしょうか。

続いて、下水道料金統一について質問させていただきます。

- 問 16 平成 26 年 7 月より下水道の料金が市内統一になります。都市計画税のほとんどが下水道の費用に充てられています。今まで、都市計画税を徴収されていた地区と徴収しない地区の料金統一となりますが、その整合性のご説明をお願いいたします。

## 提案について

### 1) 市内生産物を市民が購入する制度の充実。

多くのお金が市外に流れている現状を市内に循環させることが重要。

企業（生産）の売上は消費で成り立つ。消費は企業の分配（賃金）で成り立つ。分配で消費が成り立つ。この生産・分配・消費の循環が経済です。地元産を地元の人々が購入することで生産者にお金が回る。それで生産が安定する。雇用も安定する。雇用が売上（消費）を安定させる。

### 2) 林業の活性化とエネルギー確保

森林面積が 90% を占める宍粟市において、森林の保全と活用の方策をお願いいたします。

- ・木質バイオマス発電所の設置（エネルギーの確保）
- ・放置間伐材の買取りと燃料チップへの流通の仕組みづくり（例：智頭町、真庭市）、
- ・宍粟材 100% の木のおもちゃで「日本グッド・トイ委員会」の認定を目指す
- ・宍粟 50 名山の積極的な PR：駐車場とトイレの整備
- ・鹿の駆除と活用方法：農業被害の低減及び鹿肉の PR、鹿の燻製・鹿節等

### 3) 学校給食の無料化の実施をお願い致します。

相生市は平成 23 年度から実施しています。その予算は約 1.1 億円。一般会計の僅か 1% の費用です。相生市の人口は 25 年度になって 8 年ぶりにプラスに転じ、母子手帳の発行が過去 10 年間で最多になったと言われてしています。

宍粟の平成 23 年度の 0～14 歳の人口は 5,749 人です。

0 歳～4 歳の人口は 1635 人。5 歳～9 歳の人口は 1880 人。10 歳～14 歳の人口は 2234 人一人当たりの年間給食費

幼稚園児:23,000 円×1,635 人+小学生 44,000 円×1,880 人+中学生 47,000 円×2,234 人=1 億 9147 万 8500 円となります。

宍粟市の平成 26 年度の一般会計の予算額は 236 億 4,000 万円です。給食無料化の費用は僅か 0.8% です。

消滅可能性都市一覧（2010 年から 30 年間で 20～39 歳の女性人口の減少）で宍粟市は 55% 減少です。26 年後の宍粟市は子供を産む女性が 55% 減る。5,749 人（H23 年度）から約 2,578 人になるのでしょうか。人口の減少がさらに加速されます。

宍粟市の出生数は H2 年が 547 人、H23 年が 305 人です。

労働人口が減るとどうなるのでしょうか。市内の消費の減少が商店の売上の低下に繋がり、その為に経営が立ち行かなくなり、廃業・倒産となる。その結果、そこに雇用されている労働者が解雇となる。事業主、雇用者が減る。さらに市内の消費が減る。この循環が果てしなく続く流れを断ち切る方策が必要なのではないでしょうか。

子育てしやすい街の第一歩として、学校給食の無料化の実現が必要です。

また、給食の滞納額もお教えください。

- 4) 土・日の行政窓口の開所をお願いいたします。  
住民サービスとして、住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍証明書の発行をお願いいたします。また、開所に伴い一階ロビーの活用も提案いたします。
- 5) 関電から新電力への切り替えを
  - ・赤穂市や兵庫県が電力購入先を関電から新電力に切り替える予定。赤穂市 3,400 万の節減、兵庫県 2 億円の節減。
- 6) 豊富な天然水の活用・PR
- 7) 市民アイデア募集窓口の設置
  - ・市民提案制度のようなものでなく誰でもが気軽にアイデアを投稿できる窓口の設置。
  - ・市民のアイデア採用で市民参画と協働の推進。

以上の質問に、ご回答をお願い申し上げます。